

移植後は好天日が多い予報です

雑草の発生状況を確認し、除草剤散布は遅れずに！
一発除草剤使用前の水交換で土壌還元（田ワキ）を予防！

1 移植盛期と今後の気象予報

今年の移植作業の盛期は5月12日で、平年並に推移しました。移植後の気温は平年並に経過しており、活着は全般に良好と思われま

す。1か月予報（5月11日発表）では向こう1か月の気温は高く、天気予報では好天の日が多い予想です。

2 生育初期の水管理

移植直後は風から稲体を保護し、葉からの過蒸散を防ぐため、水深は5cm程度とします。活着後は水深3cm程度の浅水で水温を高めるとともに、夕方または早朝に入水して水温の日較差をつけ、分けつの発生を促進しましょう。また、強風や低温時は深水とします。

3 水交換・夜間落水・田干しで田ワキ抑制～

例年、5月下旬～6月上旬頃は好天で推移する傾向にあり、雑草の生育が早まることと、土壌還元（田ワキ）や表層剥離の発生が懸念されます。

除草剤は遅れずに使用するとともに、一発除草剤使用前に水交換を必ず行い、田ワキを解消してから使用しましょう（右図）。除草剤使用後7日間は止水とし、除草効果を高めま

しょう。その後、田ワキ対策のため右図および下表を参考に水交換・夜間落水・田干しを1回以上行い、分けつの発生と根の健全化を図りま

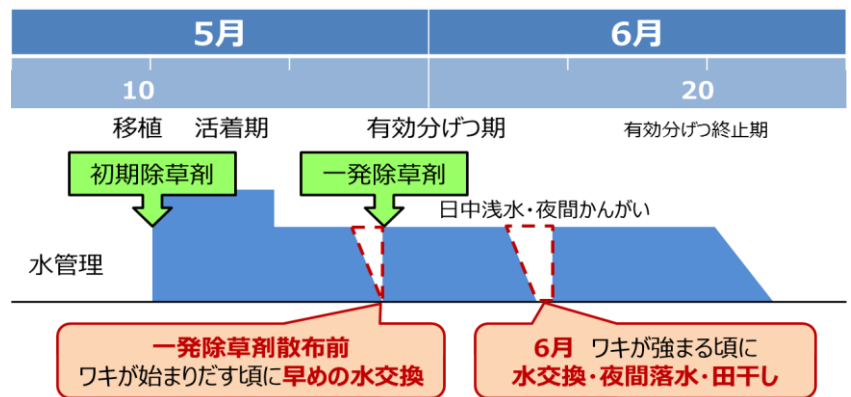


図 除草剤散布と水交換のタイミング

表 分けつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度		生育への影響	対策
水田に足を踏み込むと	わずかに気泡の発生がみられる	なし	—
	気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
	盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる		根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

STOP！ 農作業事故

春季農作業事故防止運動強化期間 4/10～6/10